

「ふるさと越後大使」の活躍

杉置 内藤 實（本町六丁目出身）

Ｊネットふるさと越後大使が誕生して
丸一年過ぎました。

大使の皆さんの各方面での活躍をご紹
介致します。

昨年五月の総会で四十五名の希望者に
市長より越後大使の名刺をいただき、積
極的に上越市のPRをお願いしました。
前々回の十七号会報でも大使の使命を
ユーモア交じりの十五ヶ条で示しまし
たが、難しいことは何もありません。あれ
から満一年が経ち、更に三十名の方に参
加して頂き、現在は七十五名が名刺を
持って活躍しておられます。会員総数が
約七八〇名ですから、会員十名に一人は
大使です。

私も名刺のお陰で「大使さん」と呼ば
れるようになりました。

お城と桜がデザインされた名刺なら、
「大使」の名称より「江戸家老」の名称の



方が粹ではないかと助言する人もいます。

名詞一枚で楽しい話し合いが進みます。
皆さんも是非お仲間に入ってみませんか。
名刺にまつわる話題は尽きません。

Ｊネットの会員は皆さん誰でも「ふる
さと越後大使」になれるのです。

大使の申し込みはＪネット事務局（上
越市役所企画政策課）で扱っております。

ふるさと大使

伊藤 紀（南城町出身）

この名刺は、どなたにも笑顔で渡せる
し、笑顔で受け取っていたけます。お
客さんと商談が途切れそうな時には効



果があります。話が弾み、雪国の新緑、春
の夜桜、夏の蓮の花となります。そして、
次の訪問の時は必ず私を「越後大使」と
して迎えてくれます。

仕事中でもほっと一息つける名刺でも
あります。名刺が縁で、近所の夫婦をお
招きしたりしました。ふるさとを離れ、忘
れていた上越を思い出した始めたのは越後
大使に任命され、この名刺を持ち歩くよ
うになったからだと思います。

ふるさと大使

勝島 敏明（天王町出身）

Ｊパワー（電源開発）の監査役として、
奥只見に行った折の大湯温泉での会食の
席上での「越後大使」の活躍を披露しま
す。

「私は大使」ですと名刺で説明すると、
春日山城・高田城・お米・お酒に話題が
尽きず、十三町村の合併にまで及び、市
の形状は恐竜の頭と説明して笑いを誘い
ました。

名刺の城をバックにした桜の絵模様は
好評でしたが、裏面は活字が小さくて文
章が長いのが不評でした。大きな字にし
て名産品や銘酒はどうでしょう。

郷土の宣伝に名刺は大いに役立ってい
ます。



ふるさと大使

金沢 一男（大町五丁目出身）

府中市内の会合や毎月のTBSの遊学舎サロンで名刺を配っています。

遊学舎サロンでの出来事。設計事務所
の建築士が「上越市大町五丁目の今井ア
ティックの新装開店に行ってきました。
私が設計しました」と言われて、よく話
を聞きましたら、私の大町五の家の斜向
いで、びっくりしました。

今井アティックはJネットの前理事の
今井一孝氏の妹さんの今井久美子さんの
店です。今井さんの今井染物店の建物は
市の重要文化財指定)

ふるさと大使

寺澤 実（南町出身）

越後人としての誇りを持って名刺を活
用させて頂いています。会合・商談の席
で、名刺の所以を聞かれて説明するこ
ろからよいドン。自慢且つ得意気に謙
信！上越一の歴史・文化・産業・特産品
について知る限り立て板に水の如く話し、
それが口火となり同席メンバーが出身郷
土の自慢話となります。戦国大名が次々
に登場して今昔国取物語に一変します。
効果的で仲間も増えました。

しかし、説明の機会が増えるにつれて
「越後」のことが自分自身あまりわかって
いないことに気がつきました。大使の名
に相応しい人物になるように研鑽した
と思います。

遅ればせながら、謙信を勉強し、謙信
への熱い思いを益々強くしました。

越後人としての「誇りと気高さ」を大
切に先人先輩に感謝しつつ「越後発！世
界に飛び出せ！」を信条に越後の輪を広
げていきたいと思えます。



ふるさと大使

和久井博（幸町出身）

私は、仕事柄各種のセミナーやシンポ
ジウムに参加する機会が多くあります。
そんな時、二十年以上も前から親しくし
ている大学の先生や会社役員の方にお会
いすることがありますが、改めて名刺交
換などということをしないうままに時が過
ぎて、会社には黄色く変色した古い名刺
が残っています。

そんな時、ふるさと越後大使の名刺は
役に立ちます。「先生、実は私、最近この
ような名刺持っています。」と名刺を渡し
ますと、「へえー、面白いですね。」といっ
て、自分の名刺をくれます。改めて名刺
をもらうと、所属や肩書きが変わってい
るのがわかります。そして、古い名刺の
更新が進みます。

また、先日、仲町のスナックへ行っ
たとき、「お名刺いただけますか？」とママに
言われたので、大使の名刺を出しました
ら、「あら、この名刺ももらったことがあ
る！」と。駄目ですよ。大使の名刺を仲
町で配っては。

ふるさと大使

佐藤 静子（大日出生）

昨年の総会で名刺を手渡されて、その
美しさ立派さに感激し、身の引き締まる
思いがしました。この三月に定年退職し、
ちよつと寂しいのですが、会う人ごとに
名刺を渡し、「上越」のPRをしています。
外出の時は名刺だけは忘れないように確
認しています。

今は種子を播く時期と心得て、必ず成
果があると確信しています。

